

## 事前評価調書

I 事業概要	
事業名	交通安全施設等整備事業（交差点改良）
地区名	一般国道 42号
事業箇所	田原市六連町地内
事業のあらまし	(国)42号六連町交差点は、小学校が近いことから多くの児童が利用するが、交差点部に歩道がないところがあり危険になっている。 そのため、用地買収を行い歩道を設けることで、通学する児童の安全を図る。
事業目標	【達成（主要）目標】 交差点の拡幅や歩道の設置などで歩行者が安全に交差点を渡れるようにする。  【副次目標】（必要に応じて記載する）
事業費	事業費
	0.5億円
事業期間	内訳
	□工事費 0.1億円、□用補費 0.35億円、□その他 0.05億円
事業期間	採択予定年度 平成25年度 着工予定年度 平成25年度 完成予定年度 平成27年度
事業内容	交差点改良工L=80m
II 評価	
①事業の必要性	1) 必要性
	判定
②事業の実効性	1) 事業計画
	判定
III 対応方針	
事業実施	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。

1) 必要性 交差点内に家屋が張り出しており、その箇所の歩道がないことから、非常に危険な状態になっている。

A

A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。  
B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。

【理由】

歩行者が安全に交差点を渡ることができる。

1) 事業計画

事業計画及び実績

		H25	H26	H27
工種区分	調査・設計	←→		
	用地・補償		←→	
	工事			←→
事業費（億円）		0.5		

※事業費について、今後5年間分の事業費と、それ以降の残事業費を記載する。

2) 地元の合意形成

地元田原市から強い要望があり、地権者からも概ね了解を得ており、地元の合意形成が図られる環境にある。

A

A：事業計画の実効性が期待できる。  
B：事業計画の実効性が期待できない。

【理由】

地権者の了解もあることから、円滑な事業執行環境が整っており、事業の実効性が期待できる。

III 対応方針

事業実施

事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。  
事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。

#### IV 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後 5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

【主な評価内容】

工事実施前後の交通状況の変化（事故件数、事故内容、交通量など）